

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

11月	午前 ①10:00～ ②11:15～	午後 ③13:15～ ④14:30～
1 金	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	震災経験とその後の活動 (南相馬市)
2 土	震災・原発事故を語る (双葉町)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
3 日	防災意識を高めよう。みんなと、自分を! (南相馬市)	自分の命を守る (いわき市)
4 月	あの日から12年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市)	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)
5 火	休 館 日	
6 水	震災発生から全町避難を振り返って (富岡町)	長い避難生活を支えた励ましの数々 (富岡町)
7 木	東京における3.11東日本大震災と福島第一原発事故 (東京都)	東日本大震災～あの日から13年が過ぎて (南相馬市)
8 金	役場職員 震災直後の5日間 (浪江町)	行動・思い・学んだこと (南相馬市)
9 土	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)
10 日	生きのびるために (双葉町)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)
11 月	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～ (双葉町)	震災紙芝居 (浪江町)
12 火	休 館 日	
13 水	東日本大震災から考える防災と社会課題 (大熊町)	復興を支える 人の繋がり (富岡町)
14 木	あの日から12年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
15 金	10:00～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 11:15～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)	13:15～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 14:30～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)
16 土	震災・避難・現在の歩み (富岡町)	10年かけて踏み出した一歩 ～大好きな地元との向き合い方～ (大熊町)
17 日	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)
18 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、相馬の実家、そして大切な家族」 (相馬市)	東日本大震災～あの日から13年が過ぎて (南相馬市)
19 火	休 館 日	
20 水	生きのびるために (双葉町)	震災紙芝居 (浪江町)
21 木	防災意識を高めよう。みんなと、自分を! (南相馬市)	「当たり前」はない (大熊町)
22 金	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	双葉の子どもたち (双葉町)
23 土	変わりゆくふるさと それでも前を向いて (双葉町)	東日本大震災原発事故により避難した体験をダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
24 日	紙芝居『菜の花物語』 (南相馬市)	自分の命を守る (いわき市)
25 月	震災時の体験と伝えたいこと (大熊町)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
26 火	休 館 日	
27 水	復興を支える 人の繋がり (富岡町)	東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町)
28 木	置き去りにされた動物 (浪江町)	行動・思い・学んだこと (南相馬市)
29 金	東京における3.11東日本大震災と福島第一原発事故 (東京都)	震災経験とその後の活動 (南相馬市)
30 土	震災・原発事故を語る (双葉町)	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)

※タイトル横の()内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2024/11/3現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。